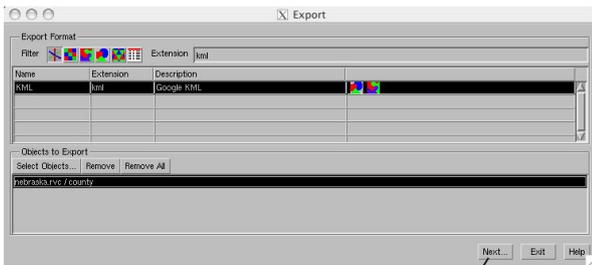


# 各種図形オブジェクトの KML 出力

TNTmips のエクスポート処理では、ベクタや CAD の内部図形オブジェクトやシェープファイル、DXF、DGN、DWG、TAB などのリンクデータを Google Earth や Google Maps で使われる KML ファイルに変換することができます。図形オブジェクトのポイントやライン、ポリゴンなどの各要素タイプに関連付けられた属性テーブルも出力することができます。オブジェクトがリレーショナルテーブルの属性構造を持っている場合、エクスポートする前に、計算フィールドや TNT 製品の他のデータベース管理ツールを使ってひとつながりの属性テーブルを用意することができます。Google Earth で表示する時、どのテーブルのどの要素の属性でもその要素に対する突き出しの高さ (Z 値) として選択、設定することができます。



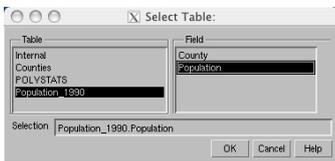
[Next] ボタンをクリックして〈エクスポートのパラメータ〉ウィンドウを開きます

入力オブジェクトがポイント要素を含まないため、[プレスマーク] パネルはアクティブではありません

これらのボタンのどれかをクリックして、選択テーブルダイアログを使って属性テーブルからフィールドを選択します



[Extrusion Field] の値に一定の乗数をかける値を入力します



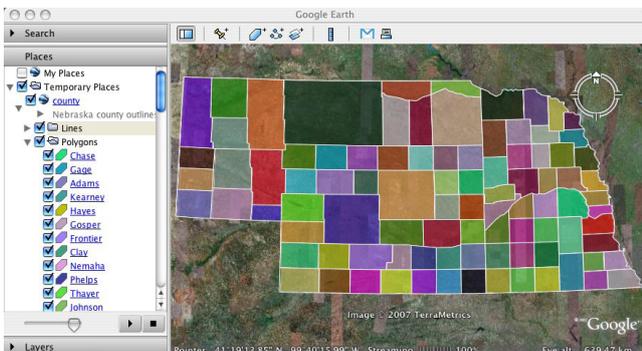
Population\_1990 データベーステーブルの Population フィールドを突き出しフィールド用に選択しました

オブジェクト名を展開する必要があります。要素はエクスポート処理で選択した table.field の値と一緒に一覧表示されます。任意の要素のフィールドの値をクリックすると、そのテーブルの中の他のフィールドのレコードを表示することができます。TNTmips で定義されている表示スタイルは KML ファイルには出力・反映されません。ポリゴンやライン要素は Google Earth においてランダムなスタイル及び透明度で表示されます。これらのスタイルは Google Earth のスタイル割り当てツールで変更することができます、KML ファイルに保存することができます。

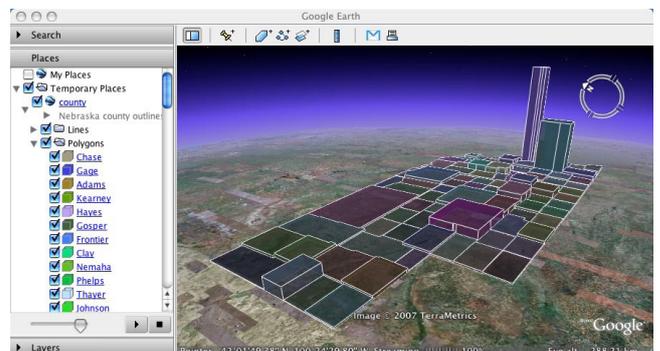
〈エクスポートのパラメータ〉ウィンドウには図形オブジェクトのポイントやライン、ポリゴンを、KML ファイルのプレスマーク (点) やパス (ライン)、ポリゴンに出力するためのパネルがあります。オブジェクトに特定の要素タイプを含まない場合、その要素に対する変換パネルはアクティブになりません。アクティブなパネルではデータベーステーブルから [Name Field (名前用のフィールド)] や [Extrusion Field (突き出し用のフィールド)] を選択することができます。どのパネルでも [Name Field] や [Extrusion Field] ボタンをクリックすると、その要素タイプに関連するデータベーステーブルが、その中のフィールドと一緒に一覧表示されます。[Name Field] を指定すると、KML ファイルの中の各要素はそのフィールドの関連するレコードで名前が付けられ、選択したテーブルの他のフィールドのレコードも保持します。[Extrusion Field] を指定すると、あなたの 2 次元の図形オブジェクト要素を Google Earth の地表面から突き出る仮想的な立体オブジェクトにすることができます。[Extrusion Field] の数値は平らな地表面からの距離に使われ、垂直スケールとして入力できる係数によって調整することができます。

図形オブジェクトから作成された KML ファイルを Google Earth で表示する時、オブジェクトの名前と説明が Google Earth の [場所 (Places)] パネルの [保留 (Temporary Places)] フォルダに一覧表示されます。KML ファイルの中の全ての要素タイプを表示するには、このパネルのオブジェクト名を展開する必要があります。

突き出しなしで出力した KML



突き出しありで出力した KML



上図は、ネブラスカ州の郡のポリゴン要素を含む同じベクタデータからエクスポートした 2 つの KML ファイルです。Google Earth の [場所] パネルにおいて各ポリゴンについて一覧表示されている郡の名前は、エクスポート処理で [Name Field] に指定されたものです。左図はポリゴンに対して [Extrusion Field] を指定せずにエクスポートした KML ファイルです。右図は人口データベーステーブルから郡の人口を [Extrusion Field] として指定した KML ファイルです。また、Google Earth で郡間の人口の差を 3 次元で分かりやすく表示できるように、人口の値はエクスポート処理で 0.5 倍しました。